

平成31年度学校評価総括表

奈良県立奈良北高等学校

<p>教育目標</p>	<p>○ 自然や人間を大切にす豊かな情操を養い、強靱な意志と自主自律の精神を育てる。 ○ 国際化・情報化の進む社会の中で、狭い価値観にとらわれず、互いに共生できる社会の実現を目指す人間を育てる。 ○ 個性と創造性を伸ばす個に応じた教育を進めるとともに、自ら考え、自ら学ぶ力を育成する。</p>	<p>総合評価</p>
<p>運営方針</p>	<p>開校以来の実績の上に、常に各取組を点検し、普通科・理数科の特色を生かした教育活動の一層の充実に向け、教職員が連携・協力して積極的に取り組む。これにより、生徒からは「行きたい学校・行ってよかった学校」、保護者からは「行かせたい学校・行かせてよかった学校」、地域からは「地域から期待される学校・地域から愛されている学校」を目指す。</p>	<p>B</p>

<p>平成30年度の成果と課題</p>	<p>本年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>
<p><b>【成果】</b> 昨年度の教育活動全般についての自己評価は、概ね適切であった。 ・生徒理解に向けての職員研修を実施することができた。 ・進路については、自己の希望の実現のために粘り強く取り組まることができた。</p> <p><b>【課題】</b> 教育目標を達成するためにカリキュラムマネジメントを推進する。 ・命の尊さを生徒と職員がともに大切にできる学校をつくる。 ・生徒の学習意欲をさらに高めるため、主体的・対話的で深い学びに繋がる学習方法を取り入れる。 ・地域から自転車通学を含め登校時のマナーに関する要望が多くあったことから、規範意識を向上させる取組が必要である。 ・地域に愛される学校として、地域との連携をさらに深める取組を進める必要がある。また、学校経営について地域に発信するとともに、PDCAサイクルを明確化し、より地域に信頼されることが必要である。 ・大学との連携など、外部教育機関とつながりをもった取組のより一層の充実が必要である。 ・理数科のさらなる特色化と同じように、普通科の取組の一層の充実が必要である。 ・分掌の改編について検証し、より効率的な学校運営を目指す。 ・学校経営における道德教育の観点を明確にする。</p>	<p><b>【1】</b> 豊かな人間性の育成に努める。</p>	<p>① 一人一人の違いを豊かさとして捉え、生徒が自尊感情を醸成し、自他の生命と人権を大切にしようとする精神を育てる。 ② 生徒会活動の充実を図り、文化祭、体育祭等の学校行事において、生徒の主体的活動を促進する。 ③ ボランティア活動への積極的な参加を促進する。</p>
	<p><b>【2】</b> 基本的な生活習慣を確立させる。</p>	<p>① 日々の清掃活動を徹底し、身の回りの整理整頓を習慣付ける。 ② 社会のルールやマナーを身に付けさせるための指導を行う。 ③ 自然災害や犯罪、事故等の危険から身を守るため、危険予測の能力を高め、危機回避の力を身に付けられるよう、安全教育の充実を図る。 ④ 生徒一人一人を大切に教育相談の充実を図る。</p>
	<p><b>【3】</b> 自ら学び・考える態度を育てる。</p>	<p>① 生徒が主体性をもって考え、探究的な学びをする授業を計画する。 ② 授業公開や研修会などを積極的に行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業ができるよう指導方法の改善を図る。</p>
	<p><b>【4】</b> 個を大切にしながら進路指導の充実を図る。</p>	<p>① 将来に向けての進路計画がもてるよう、各学年における指導内容と資料の精選を行う。 ② 生徒一人一人に将来の職業を意識した進路目標を設定させ、その実現のため、計画的・継続的な支援をする。 ③ 各種の講座や合宿等の充実を図る。 ④ 実力テスト等を適切に実施し、結果の効果的な活用方法を研究する。</p>
	<p><b>【5】</b> 情報の有効活用を図る。</p>	<p>① 生徒、保護者や地域の方々への確実な情報伝達を行う。 ② Webページ、学年だより等、学校情報を積極的に発信する。 ③ 校内の様々な業務を校務支援システムで運用する研究を行う。</p>